



学校だより

小和田小学校

令和8年度9月号

【学校経営方針】

一人ひとりを大切に、社会力を育み、みんなの笑顔がある学校

【学校教育目標（めざす子ども像）】

「心も体も丈夫な子」「思いやりのある子」「自ら学ぶ子」

【学校経営目標（めざす学校像）】

「学ぶ喜びを感じる学校」「保護者、地域から信頼される学校」

「教職員が成長し合える学校」「心落ち着くきれいな学校」

前期後半のスタートにあたって

校長 山崎 悟史

長い夏休みが明け、学校に元気な子どもたちの声が戻ってきました。朝、登校してくる子どもたちと笑顔であいさつを交わしながら、「無事に学校に戻ってきてくれてよかった」と大きな喜びを感じています。また子どもたちの様子を見ながら、充実した夏休みを過ごしてくれたことがうかがえ、同時に「いよいよ前期後半が始まる…」と身の引き締まる思いがしました。

夏休み期間中に、全国各地で地震や豪雨といった大きな災害が発生しました。被災された皆様が一日も早く穏やかな日常を取り戻せるよう、心よりお祈り申し上げます。

こうした大きな災害が学校の教育活動中に起こることも十分に考えられます。今後も様々なケースを想定しながら、子どもたちの安全を最優先に守るための備えを行ってまいります。

ぜひご家庭の方でもお子様と防災についての話をしていただきたいです。特に、登下校中や留守番をしている時など、大人の目が届かない時間帯に災害が起きた場合、身の安全を守るためにどんな行動をとればよいのかなど、具体的に話し合っていただきたいと考えております。子どもたちが「自分の命は自分で守る」ための行動がとれるよう、防災についても、学校と家庭で連携させていただきたいです。

前期後半も、子どもたちが安心して笑顔で過ごせるよう、教職員一同、力を尽くしてまいります。保護者のみなさまにおかれましては、引き続き本校の教育活動にご理解、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

全校朝会の話 『自分を大切に』『友だちを大切に』

学校だより5月号では「あいさつ」の大切さについて書かせていただきました。今回は、これまで子どもたちに伝えてきたもう一つの大切な思い…「自分を大切に」についてお話しします。

言うまでもなく、子どもたち一人ひとりは誰も代わることのできないかけがえのない存在です。教職員一同、子どもたちの安全・安心を守ることに全力を尽くすとともに、子どもたち自身が「自分を大切に」できるよう心より願っております。全校朝会では、校長から子どもたちへ次のように思いを込めて伝えました。

『みなさん一人ひとりは「世界にたった一人しかいない、とても大切な宝物」です。』

また、同時に「友だちを大切に」ということも伝えました。子どもたちが「友だちを大切にする」気持ちを持ち続けられれば、良好で温かな関係が築けると思っています。たとえ子ども同士の心配な出来事が起こったとしても、この気持ちがあれば乗り越えられると信じています。

夏休み明けの全校朝会でお話した内容（一部省略）を掲載いたしますので、ぜひお読みいただき、ご家庭でも話題にしていければ幸いです。

さて、夏休み前の朝会で話した「二つのこと」を覚えているでしょうか。みなさんがこれから気持ちよく、安心して過ごせるよう、もう一度お話しします

一つ目は、「あいさつを大切に」することです。

今日の朝、8:00前から、校長先生は西側の門の前で一人ひとりにあいさつをしました。登校してくるみなさんの目を見て、「あなたのことが大切です」という気持ちを込めてあいさつをしました。そして、「明るい優しい声で」「相手が元気になるような」あいさつを心がけました。

今日はあいさつを返してくれる人がとても多かったです。なかには、校長先生があいさつする前に、「おはようございます」と言ってくれる人もいて、「自分からあいさつできる」姿がとても素晴らしいと思いました。

あいさつは人と人をつなぐ大切な心の通い合いです。

先生、職員の方、おうちの人、地域の人・・・いつもみなさんのことを見守り、支えてくださっている人に「自分らしいあいさつ」を届けていきましょう。もちろん、友だちともあいさつを交わせるといいですね。

みなさんなら、「自分らしいあいさつ」ができます。

今以上に、みんなで「あいさつ」を交わし合えるあたたかい学校にしていきましょう。

二つ目は、「自分を大切に、友だちを大切に」することです。

みなさん一人一人は、「世界にたった一人しかいない、とても大切な宝物」です。ですから「自分」を大切にしてください。何か困ったことや心配なこと、悩みごとがあれば、先生、おうちの人、または「この人なら」と安心できる人に話してくださいね。気持ちに寄り添い聴いてくれますし、きっと力になってくれます。

そして、「友だちを大切に」という気持ちを忘れなければ、ずっとよい関係でいられると思っています。よい友だちは、先生たちと同じように、いっしょに楽しんだり、お話を聴いてくれたり、困ったときには支え合ったりできる存在です。

みなさんが気持ちよく、安心して学校生活を送るために大切なことはたくさんありますが、その中でも、校長先生からはまず「あいさつを大切に」「自分を大切に、友だち・相手を大切に」することの二つを、一番に伝えたいと思っていました。

(「夏休み明け全校朝会 校長のことば」より)

第2回校内授業研究会を実施しました

7月13日(月)に第2回校内授業研究会があり、5年1組(井上級)にて、算数「小数の倍」の授業公開および研究協議会を実施しました。学年で事前検討を重ね、先行して3・4・5組、13日の校内研究会後に2組が授業公開をしました。

【本授業の中心の問い】

Aのお店では200円のハンバーガーが160円で売られています。Cのお店では160円のおにぎりが120円で売られています。どちらがお得でしょうか。

ハンバーガーとおにぎりの値引き額がどちらも40円ですが、「もとの値段」が違いますので、「同じ」という答えにはなりません。では、「どちらがより安くなったか」を確かめるにはどうしたらよいのか・・・。

どの学級の子どもたちも、難しい問題にもあきらめず、まずは一人で粘り強く考え、その後、近くの友だちと意見を交わし合いながら考えていきました。「一人では困難なことがあっても、友だちと力を合わせれば乗り越えられる」——そんな協同的な学びの姿が、5年生のどのクラスでも見られたことを大変嬉しく思いました。

特に印象的だったのは、全学級で多様な考え方が出てきたことです。最終的には、「もとの大きさがちがうときには、『倍』を使って比べることがある」ことを理解してほしかったのですが、そこに至るまでの子どもたちの思考は、先生たちの予想を超えるものもありました。

子どもたちが主体的、対話的に学んでいるとき、私たち大人の想像を超える素晴らしい力を発揮することを、5年生の子どもたちの姿、先生方の実践から改めて教えられました。